



紋切り(もんきり)とは？

型どおりに紙を切っていくと、いろいろな美しい紋の形が楽しめる、江戸時代の頃から人々に愛された切り絵の遊びです。

寺子屋の本などにも型紙が載ったり、「紋切型(もんきりがた)」という言葉も生まれるほど、紙とハサミがあれば楽しめる身近な遊びでした。

